

試行・検証等のテーマ

② 課題を抱える子供たちを対象とした体験活動

背景 ・ 課題

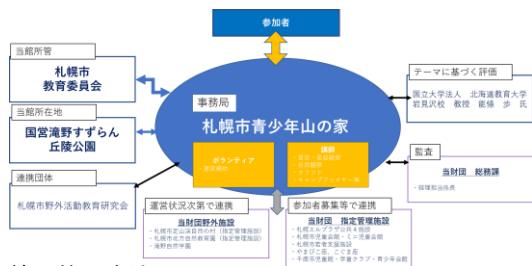
コロナ禍により相当数の学校宿泊学習が実施困難となり、多くの児童が体験の機会を失った。保護者の経済力や保護者自身の経験の多寡等によって、子どもの体験機会に格差が生じているとの指摘もある中、体験機会の補填や補償を行うことや、宿泊活動の質的向上や教員の負担軽減に繋がるような取り組みを進めていくことについて課題があると捉えた。

事業の ねらい

- ・経済的困難にある子ども達を対象に、滝野すずらん丘陵公園の恵まれた自然環境を活用した体験活動の場を担保することにより、必要とする子どもや家庭に必要な支援を届ける
- ・取組みの結果を宿泊学習活動の質的向上のためフィードバックすることで、集団宿泊活動の普及啓発につなげる。

事業内容

<実施にかかる体制>



<テーマに基づいた試行、検証等の方法>

参加者、保護者を対象にアンケート調査のうえ (pre) (post) の比較し評定を求めた。

<活動の内容>

○実施期間 9月2日（オンライン）、9月10日（日帰り）9月23日（土）・24日（1泊2日）

○実施場所 札幌市青少年山の家及び周辺フィールド

○参加者属性、人数 小学5年生～中学2年生、参加登録28名

○具体的なプログラム内容 9月2日 オンライン顔合わせ、説明、アサーティブ解説
 9月10日 アサーティブトレーニング、炊事
 9月23日・24日 選択式プログラム ※別紙報告書を提出



成果

経済的な課題を抱える複雑な家庭環境にあり、集団宿泊学習に対する興味関心を子ども・保護者共にある定程度有している対象者を確保することができた。また、参加者自身の選択により展開する自由度の高いプログラムをとおして、主体的に活動する体験機会を提供した結果4項目で行動や意識の変化を確認することができたことから、必要とする子どもに必要な支援を届けるという目的は十分に達成することができた。保護者からみた具体的な行動や意識の変化は得られなかったが、より長期の活動となれば保護者にもそれが実感される可能性自体は依然あるものと捉え、また別の機会に検証することとしたい。※別紙報告書を提出 <https://syaa.jp/>

今後の 展開

○本事業の報告内容については、今後当施設HPに事業実施結果として公開することにより、宿泊学習事業の普及振興につなげるという当初の目的に沿って運用する。
 ○今年度2.3月に『Re: 滝野宿泊学習』は参加費を徴収する形で再び実施する。併せて今回浮き彫りになった、参加者層の抱える『孤独感』等に対するケアについて、自由選択制の要素は残しながら、アサーティブトレーニングの要素を深めることで、仲間づくりや自己開示につながる要素を加える。これらが参加状況を含め、効果に対しどのような変化を及ぼすのか再び検証したい。なお、その結果も踏まえながら、本事業については来年度も実施する予定である。